

平成25年度 中部地区測量技術講演会

地理空間情報の活用 推進に関する国の取組

～ G空間EXPO2013ほか
最近の動向について～

平成25年6月18日

国土交通省 国土地理院
企画部 地理空間情報企画室



1. G空間EXPO2013 ~平成25年11月開催~

- G空間EXPO2013の概要
- 新しい取組「Geoアクティビティフェスタ」

2. その他の政府の最近の動向

- 政府等におけるオープンデータの動向
- G空間情報センター
- G空間×ICT推進会議（総務省）

3. 国土地理院の最近の取組

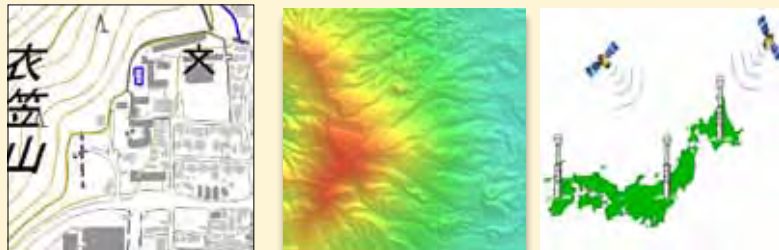
- フレッシュマップ2012
- 電子国土基本図の整備・提供
- 地理空間情報ライブラリ・電子国土web .NEXT

- 1 平成19年5月 地理空間情報活用推進基本法 成立・公布
- 1 平成24年3月 **地理空間情報活用推進基本計画**の閣議決定
(平成20年4月の 前基本計画に引き続いた、平成28年度までの政府の基本的取組)

方針1

GIS
地理情報
システム

社会的ニーズに応じた持続的な
地理空間情報の整備と新たな活用への
対応



方針2

衛星
測位

実用準天頂衛
星システムの
整備、利活用
及び海外展開



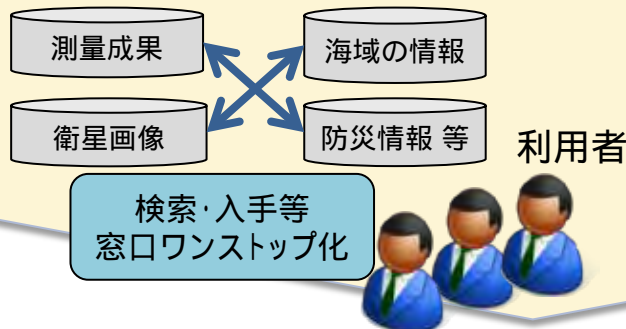
方針4

東日本大震災か
らの復興、災害
に強く持続可能
な国土づくりへ
の貢献



方針3

地理空間情報の社会へのより深い浸透と定着



誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を使ったり高度な分析に基づく的確な情報を入手し行動できる
「地理空間情報高度活用社会 (G空間社会) の実現」

1 . G空間EXPO2013 ~ 平成25年11月開催 ~

- G空間EXPO2013の概要
- 新しい取組「Geoアクティビティフェスタ」

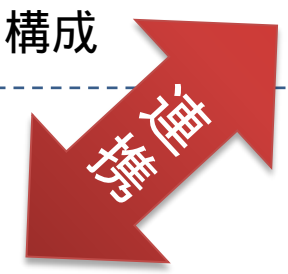
地理空間情報活用推進基本計画

方針3 地理空間情報の社会へのより深い浸透と定着

- ・ 地理空間情報の社会全体への活用拡大
- ・ 人材育成や産学官の連携強化

地理空間情報活用推進会議

内閣官房副長官を議長に、
ほぼ全ての省庁の局長級職員により構成



国・地方公共団体等

産業界

地理空間情報産学官連携協議会

学界

G空間EXPOWG

防災WG

研究開発WG

新たなサービス・産業の創出や、既存サービスの高度化・発展に関する民間事業者等の提案や創意工夫の掘り起こし

地理空間情報の活用の有効性や技術に関するセミナー
新産業の創造に寄与する講演会、シンポジウム
新商品・新サービスの展示会

これまで2010年9月、2012年6月の2回
パシフィコ横浜にて開催





会場を従来のパシフィコ横浜から
日本科学未来館（東京・お台場）
に移して、装いも新たに開催します。

名称

G空間EXPO2013 **地理空間情報科学で未来をつくる**

会期

平成25年11月14日（木）、15日（金）、16日（土）

会場

日本科学未来館（東京都江東区青海2丁目3-6）

入場料

無料

主催

G空間EXPO2013運営協議会

（各イベントの主催者等により構成：構成員は以下のとおり）

公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、
一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、
一般財団法人衛星測位利用推進センター、gコンテンツ流通推進協議会、
一般社団法人地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙戦略室、
国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院企画部、
独立行政法人宇宙航空研究開発機構

共催

日本科学未来館

産学官の関係団体・機関による共催とし、各主催者が以下のイベントを実施



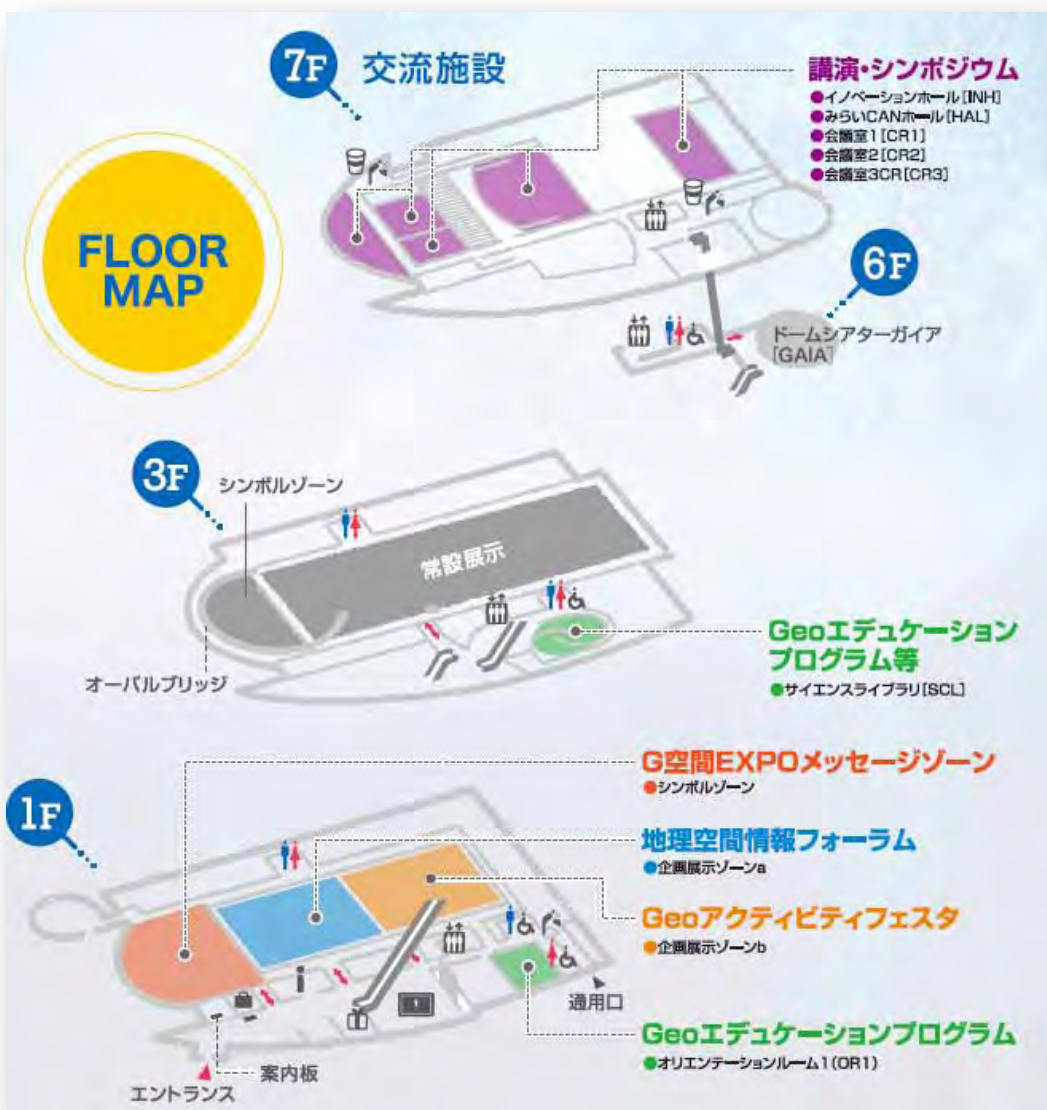
G空間EXPOメッセージゾーン
 (G空間EXPO2013運営協議会)
 G空間EXPOの導入部として、身近なG空間に関する紹介

地理空間情報フォーラム
 (日本測量協会ほか関連団体)
 企業・団体等による技術やサービスの専門的な展示

Geoアクティビティフェスタ
(国土交通省)
 公募により選ばれたプレゼンターが様々な活用のアイデアを披露

Geoエデュケーションプログラム
(国土交通省)
 教員や地域で活動する方への研修や親子・児童生徒向けの体験イベント

講演・シンポジウム等
 (講演・シンポジウム実行委)
 G空間に関する最新情報や研究成果発表などの講演やシンポジウム



Geoアクティビティフェスタ

- 前回のG空間EXPO2012から始まった、国土地理院発案の **新イベント**
- 地方・中小・ベンチャー企業・学生等の皆様が持つ、アイデアを披露する場を提供
- 埋もれたアイデアの**発掘と交流**により、世の中の活用推進に貢献

展示・プレゼンテーションを行う

「プレゼンター」を一般から公募

- 経験・知識を問わず、誰でも応募できます。
- G空間情報を活用したアプリ、システム、機器、端末、サービス、技術、地図成果、研究成果、活用事例等を広く募集

全国から選ばれた 21 人が展示やプレゼンテーションを実施

地方（大分県や栃木県など）の中小の測量会社、NPO法人、大学院生など、様々なジャンルからの参加者が、G空間情報の活用のアイデアを披露



	発表課題名	プレゼンター名
最優秀賞	地理空間情報ボランティアを支える枠組みの提案	河口 信夫（NPO法人 LISRA 設立準備委員会 / 名古屋大学）
優秀賞	iPadで現地調査・施設管理！使い慣れた地図が使えます。「カンタンマップ for iPad」	あっとクリエーション（株） （代表：黒木 紀男）
優秀賞	沖縄の防災における地理空間情報の活用例	渡邊 康志様（GIS沖縄研究室）
優秀賞	トリアージ情報共有を目的としたWebGIS情報配信システム	新潟大学工学部情報工学科 （代表：牧野 秀夫）
優秀賞	手持ちのEXCELデータを簡単にGoogleMAPとリンク。地図管理への第一歩 ～営業リスト見える化ツール～	（株）デバイスワークス （代表：加賀屋 太郎）
優秀賞	時空を越えた地図共有サービスの提案	大塚 恒平

来場者やプレゼンターほか、様々なG空間関係者から、引き続き開催すべきとの多くの声

● ユニークなアイデアや研究成果が集まった「Geoアクティビティフェスタ」

展示会と並んでもうひとつ注目されたのが、地理空間情報の活用に関するユニークなアイデアや活用事例、研究成果などの展示やプレゼンテーションを行う「Geoアクティビティフェスタ」だ。こちらは講演会やシンポジウムが行われた2階ホールの前が展示スペースとなり、計21の展示が行われた。企業や大学の研究室だけでなく個人による参加者もあり、22日のコアタイムには展示スペースでプレゼンターによる実演が行われ、多くの人の注目を集めていた。



Geoアクティビティフェスタの展示スペース



Geoアクティビティフェスタの発表会

INTERNET
Watch

G空間EXPOに関する
特集で最も大きく扱われる

国として基本計画を策定して活用推進の旗が振られたところで、**実際の主役はユーザー**であり、（中略）地理空間情報を有効に利用して活用推進に**貢献した成果をしっかりと評価することで応えたのは評価してよい**（業界紙より、抜粋）

国土地理院では、今年も「Geoアクティビティフェスタ」を実施します

- 名称** G空間EXPO2013 Geoアクティビティフェスタ
- 日時** 平成25年11月14日(木)、15日(金)、16日(土) 10:00~17:00 (予定)
- 主催** 国土交通省(国土地理院・国土政策局)
- 場所** 日本科学未来館(東京都江東区青海2丁目3-6)
- 内容** ・ 公募により選考された「プレゼンター(出展者)」により、展示やプレゼン(期間中1回)等を実施。また、これらについてはイベント期間中に審査し、優秀なものについて表彰を行う(基本的には前回と同様)

プレゼンターを30人(程度)に拡大

ゲスト講演や、パネルディスカッションなども今後検討

本省国土政策局との共同開催



(会場予定地)

1F



プレゼン
ステージ

- 5月31日で応募を締切り
- プレゼンターを現在選考中！！
- 7月上旬頃に、国土地理院ホームページで公表予定



 @geo_fes

現在、具体的な会場レイアウト・デザイン等を検討中

電子国土基本図等の国土地理院のデータを活用し、地理空間情報の高度活用社会の形成に貢献するGISソフトウェアとGISコンテンツの中から、優れたものを『電子国土賞』として表彰するとともに広く紹介することにより、品質の高いアプリケーションの開発・普及を促進。

「G空間EXPO2012」の会場において、電子国土賞（電子国土賞、電子国土功績賞、電子国土賞ロゴマーク）の表彰式も実施。

電子国土賞受賞作品

「モバイル部門」

- 東京時層地図
- QZS Prove Tool

「PC部門」

- カシミール3D
- 基盤地図対応GDAL/OGR
- 地図太郎シリーズ「地図太郎」「地図太郎PLUS」
- 交通情報管理解析システム

「コンテンツ部門」

- 幼化ビュースケープ「山っぽ」(山岳立体地図画像)
- 3Dプリンターによる被災地の詳細立体地形模型の作製
- 歴史的農業環境閲覧システム
- 文部科学省放射線量等分布マップ拡大サイト



2013年度も「電子国土賞」を再び選考し、G空間EXPO2013において表彰式等を実施する予定です。

推薦期間：
平成25年8月1日
～9月20日(金)

2 . その他の政府の最近の動向

- 政府等におけるオープンデータの動向
- G空間情報センター
- G空間×ICT推進会議（総務省）

オープンデータとは？

- 公共データは**国民共有の財産**である
- 公共データの活用を促進するための取組に速やかに着手し、それを広く展開することにより、国民生活の向上、企業活動の活性化等を図り、我が国の**社会経済全体の発展に寄与**することが重要である
(H24.7.4 電子行政オープンデータ戦略)

オープンデータとは

- 官公庁などが持ち、限られた場所で利用されているデータを、一般の利用者がいつでも取り出して利用できるようにしたデータ。民間企業が持つデータと組み合わせ、新サービスを生み出すと考えられている。(朝日新聞2012.11.22 朝刊)
- 特定のデータが、一切の著作権、特許などの制御メカニズムの制限なしで、全ての人々が望むように利用・再掲載できるような形で入手できるべきであるというアイデア (Wikipedia)

オープンデータに関する取組は、アメリカやEUを始め海外においても積極的に進められており (Data.govなど)、我が国としても取り組むべき重要な課題

地図等の地理空間情報についても重要なオープンデータとして認識されている

2012年7月4日 政府IT戦略本部決定

電子行政オープンデータ戦略の概要

「新たな情報通信技術戦略」及び「電子行政推進に関する基本方針」の趣旨に則り、公共データの活用促進に集中的に取り組むための戦略として、電子行政オープンデータ戦略を策定する。

◆ 戦略の意義・目的

- ① 透明性・信頼性向上 → 行政の透明性の向上、行政への国民からの信頼性の向上
- ② 国民参加・官民協働推進 → 創意工夫を活かした公共サービスの迅速かつ効率的な提供、ニーズや価値観の多様化等への対応
- ③ 経済活性化・行政効率化 → 我が国全体の経済活性化、国・地方公共団体の業務効率化、高度化

◆ 基本的な方向性

- 【基本原則】
- ① 政府自ら積極的に公共データを公開すること
 - ② 機械判読可能で二次利用が容易な形式で公開すること
 - ③ 営利目的、非営利目的を問わず活用を促進すること
 - ④ 取組可能な公共データから速やかに公開等の具体的な取組に着手し、成果を確実に蓄積していくこと

◆ 具体的な施策

【平成24年度】以下の施策を速やかに着手

- 1 公共データ活用の推進（公共データの活用について、民間と連携し、実証事業等を実施）《内閣官房、総務省、経済産業省》
 - ①公共データ活用ニーズの把握 ②データ提供方法等の整理 ③民間サービスの開発
- 2 公共データ活用のための環境整備（実証事業等の成果を踏まえつつ、公共データ活用のための環境整備）《内閣官房、関係府省》
 - ①必要なルール等の整備（著作権の取扱いルール等） ②データカタログの整備 ③データ形式・構造等の標準化の推進等
 - ④提供機関支援等についての検討

【平成25年度以降】ロードマップに基づき、各種施策の継続、展開 《内閣官房、関係府省》

◆ 推進体制等

- 【推進体制・制度整備】オープンデータを推進するための体制として、速やかに、官民による実務者会議を設置
- ①公共データ活用のための環境整備等基本的な事項の検討 《内閣官房、総務省、経済産業省、関係府省》
 - ②今後実施すべき施策の検討及びロードマップの策定 ③各種施策のレビュー及びフォローアップ
- 【電子的提供指針】フォローアップの仕組みを導入し、「具体的な施策」の成果やユーザーの要望等を踏まえ、提供する情報の範囲や内容、提供方法を見直し
《内閣官房、総務省》

平成24年 7月 4日

電子行政オープンデータ戦略 策定

新たな情報通信技術戦略工程表 改訂

- 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）

平成24年 7月27日

オープンデータ流通推進コンソーシアム設立（第1回委員会は10/24）

- 産官学が共同でオープンデータ流通環境の実現に向けた基盤整備を推進することを目的（産学が中心の会議）
- 小宮山 宏 三菱総合研究所理事長が会長

平成24年11月30日

電子行政オープンデータ実務者会議設置（第1回会議は12/10）

- 有識者 + 関係府省による会議
- 村井 純 慶応大学環境情報学部長が主査

平成25年 5月24日～ 6月 7日

パブリックコメント

- 「世界最先端IT国家創造」宣言（案）
- 「電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ（案）」 等

この他、経産省等でも独自の取組を推進（DATA METI構想など）

2 . その他の政府の最近の動向

- 政府等におけるオープンデータの動向
- G空間情報センター
- G空間×ICT推進会議（総務省）

（第 部 4 . 地理空間情報の整備と活用を促進するための総合的な施策）

（1）地理空間情報の共有と相互利用の推進

地理空間情報の活用を推進するためには、各主体によって整備される様々な地理空間情報を、利用者が容易に検索し、入手・利用できる環境の整備が必要である。このためには、地理空間情報を、各整備主体の枠を超えて社会全体において共有する仕組みが必要となる。

このため、国は、国の各機関や地方公共団体など、多種多様な主体によって整備される地理空間情報及びその所在情報について、各整備主体の協力により、測量成果、画像情報、防災情報等、データの特性・分野別にそれぞれ集約、管理、提供等を適切に行うための取組を推進する。

（中略）

また、このようにして特性・分野別に集約された地理空間情報について、利用者が統合的にワンストップで検索・閲覧し、情報入手・利用するために必要となる環境の整備・改良等を実施する。さらに、様々な地理空間情報を二次利用等する場合に必要な各種手続を容易に行うことができる仕組みを構築する。

こうした取組と、研究機関やNPO、民間事業者等による情報の利用や研究開発等が相互に連携し、国、地方公共団体、民間事業者等が一体となって施策を推進することで、我が国における地理空間情報の共有・提供を行う情報センターの構築を目指す。



(平成24年6月 自民党合同部会提出資料(東京大学柴崎教授)より抜粋)

- 散在するG空間情報を平時から迅速に探し出し、いつでも容易に利用できる環境を整備。
- 行政機関や企業、研究者等が日常的にG空間情報を高度に使いこなすことで、災害対策の計画や災害への緊急対応などに役立てる。
- G空間情報センターを中心に情報の流通・利用を促進するとともに、G空間情報の整備・更新の頻度や品質の向上を促し、G空間情報の整備・流通・利用のサイクルを構築する。

G空間情報センター構想に関する検討体制

地理空間情報産学官連携協議会 全体会議

目的：地理空間情報に係る課題認識と情報の産学官での共有を図り、地理空間情報の効果的な活用を推進

構成員：産業界10機関、学界10名、官22部局・機関

事務局：内閣官房副長官補（内政・外政担当）付
国土交通省国土政策局
国土交通省国土地理院

共通的な基盤技術に関する研究開発 ワーキンググループ(研究開発WG)

目的：産学官が連携し、研究開発のより効果的な推進に貢献

構成員：産業界11機関、学界11名、官14部局・機関

幹事：
産) (財)衛星測位利用推進センター 吉田本部長
学) 東京大学空間情報科学研究センター 柴崎教授
官) 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付
国土交通省国土政策局
国土交通省国土地理院

防災分野における地理空間情報利活用推進のための基盤整備ワーキンググループ (防災WG)

目的：技術動向等に関する情報共有と、今後の取組の方向性の意見交換を実施

構成員：産業界69機関、学界6名、官(国)20部局・機関、官(独法)8機関、官(地公体)3団体

幹事：
産) (財)衛星測位利用推進センター 吉田本部長
L C D M推進フォーラム 礪部元事務局長
学) 名古屋大学大学院環境学研究科 福和教授
東京大学空間情報科学研究センター 柴崎教授
官) 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付
内閣府政策統括官(防災担当)付

G空間EXPOに関するワーキンググループ (EXPOWG)

目的：G空間EXPOの開催内容や運営方法等を検討

構成員：産業界21機関、学界7機関、官(国)15部局・機関、官(独法)8機関

幹事：
産) (社)日本測量協会 瀬戸島専務理事
学) 東京大学 浅見教授(GIS学会・学会長)
官) 内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付)
国土交通省国土政策局
国土交通省国土地理院

地理空間情報の共有と相互利用に関する専門部会

平成24年10月設置

目的：地理空間情報を容易に検索、入手、利用できる環境の整備に向けた検討を実施

構成員：【部会長】柴崎教授(東京大学空間情報科学研究センター)ほか13名

事務局：
国土交通省国土政策局国土情報課
国土交通省国土地理院企画部地理空間情報企画室

技術検討チーム

目的：メタデータ等技術的ルール検討

運用ルール検討チーム

目的：情報交換ルール等に関する検討

実証実験検討チーム

目的：実証実験の円滑な実施のための検討

G空間情報センターのあり方、機能についての検討（専門部会）

- 情報提供主体側が必要とする情報センターのあり方、機能
- 情報利用者側が必要とする情報センターのあり方、機能
- 情報センターが実装すべき機能・要件の整理

ワンストップで情報を検索する仕組みの検討（技術検討チーム）

- 検索に必要な情報項目等の検討
- 国・独法等が運用する既存の情報提供サイトの調査

情報共有・提供の際の取扱に関する検討（運用ルール検討チーム）

- データ提供に当たっての条件（利用規約等）の整理
- 利用条件の表示方法の検討

地方公共団体の保有する情報に関する調査（実証実験検討チーム）

- 三重県、高知県、掛川市（静岡県）において実証実験を実施
- 保有する各種情報に関する提供の可否、理由等の調査・整理

（全体的な課題）

- 情報センターの運営主体に関する検討（誰が情報センターを整備し、運用していくのか）
- 全体的なロードマップの検討

（技術的な課題）

- データ形式、インターフェース、情報収集等の検討（どのように必要な情報を収集・蓄積し共有化するか）
- セキュリティ、情報の信頼性の確保に必要な課題の検討（内容の改変の把握、情報の精度確保をどのように行うか）

（運用面での課題）

- 利用申請等の代行に関する運用方法等の検討
- 災害時における情報の取扱ルール^①の検討

実現に向けて、産学官連携して引き続き検討が必要

2 . その他の政府の最近の動向

- 政府等におけるオープンデータの動向
- G空間情報センター
- G空間×ICT推進会議（総務省）

総務省では、経済の再生や復興・防災等、我が国が抱える課題の解決に貢献するため、**G空間情報とICTの徹底的な利活用**に関する方策等を検討する、総務大臣主宰の「G空間 × ICT推進会議」を開催(平成25年3月～6月〔予定〕)



検討内容

1. 新産業・サービスの創出
(元気をつくる、国の仕組みをつくる)
 - (1) G空間 × ICTビジネスモデルの検討
 - (2) G空間情報を活用したICTビジネス・サービスの振興
 - (3) G空間情報を活用したシステムの海外展開
 - (4) G空間情報の活用による行政の効率化・高度化
2. 防災・地域活性化
(命をまもる、便利な暮らしをつくる、みんなの安心をまもる)
 - (1) G空間情報の活用による防災・減災
 - (2) G空間情報の活用による地域活性化

構成員

座長 柴崎 亮介 東京大学空間情報科学研究センター教授
ほか、産学からなる28名の構成員

河口教授もメンバー

(オブザーバー)

内閣官房、内閣府、警察庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、国土地理院、環境省、防衛省

これまでの開催状況、配布資料等

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/gkukan-ict_suishin/ にて公開

3 . 国土地理院の最近の取組

- フレッシュマップ2012
- 電子国土基本図の整備及び提供
- 地理空間情報ライブラリー、電子国土Web.NEXT

『「フレッシュマップ2012」電子国土基本図を中心とした地理空間情報の整備・活用推進行動計画』を平成24年11月に策定（前年度の計画を改定）

行動計画とは

- 電子国土基本図の整備・更新及び行政機関等での活用促進に関する、国土地理院の目標と行動内容を明確化
- 対象期間は、平成26年度末までの2年半
なお、利用者からの意見・要望を踏まえつつ、各節目でフォローアップを行い、毎年度見直しを実施

前年度の計画による取組の成果

- 道路について、各地方整備局等・各都道府県から更新に必要な情報を得るための**連携体制を確立**、変化に対応した**迅速更新の開始**
- 最新の更新情報を反映させた「**数値地図（国土基本情報）**」・「**電子地形図25000**」の刊行を北海道地区から開始
- 「電子地形図25000」等では、要望が多かった**道路中心線、送電線等の復活**を含め、従来の紙の地形図とほぼ同様の内容で、**最新の情報入手が可能な仕組みの提供**
- 行政事務における電子国土基本図の新たな**具体的利用の創出**
- 各地方整備局等及び各都道府県等との活用促進に関する**連絡体制の確立**、一部の機関とは「地理空間情報の活用促進のための協力に関する**協定**」を締結（10月末現在で、21機関・団体と協定を締結）
- モバイル端末**に対応した利用環境の提供（14種類のソフトウェアが民間企業等によって開発）

「フレッシュマップ2012」の主な行動計画

1. 活用推進のための取組

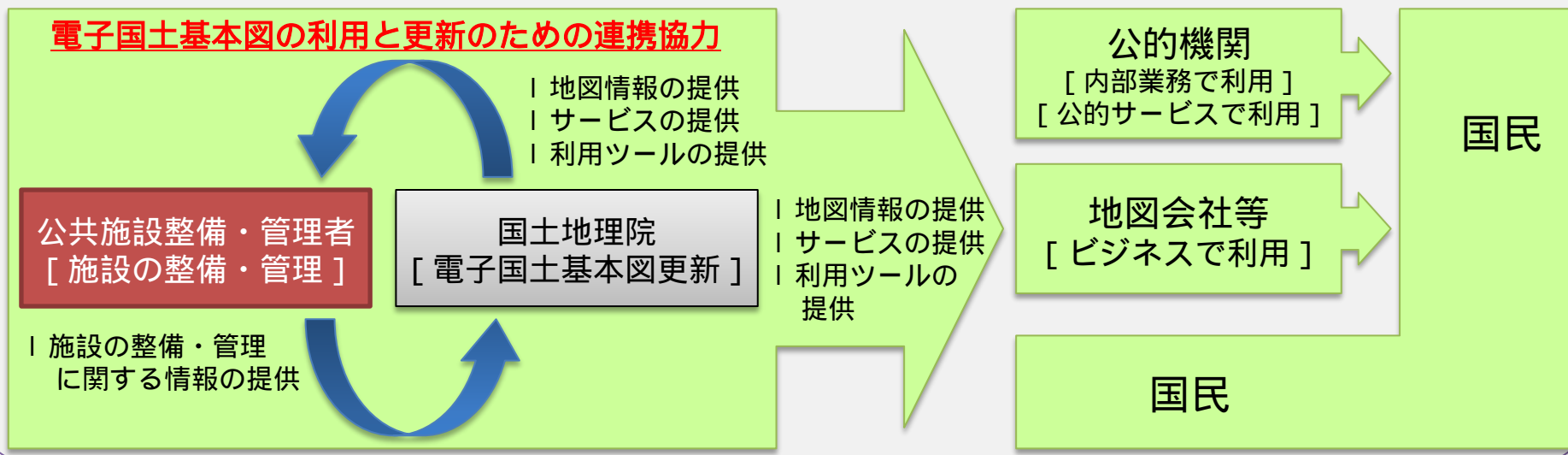
- 行政機関向けには、行政事務効率化に有効なツール等の提供、また、具体的な課題に対する電子国土基本図等を活用したソリューションの提案とフォローを実施
- 民間事業者向けには、電子国土基本図の全国ベクタデータの提供・更新、更新に関する情報の提供、小縮尺地図情報の多様な形式での刊行

2. 更新のための取組

- 都市計画基図及び空中写真を活用して「面的更新」
- 行政面・防災面で利用ニーズの高い道路を、地方整備局等及び道路整備・管理者と連携して、優先的に「迅速更新」、また、大規模な港湾施設も「迅速更新」の対象に含める

3. 地域における取組

- 地方測量部・支所が主体となって、地方の国の機関・地方公共団体と連携



3 . 国土地理院の最近の取組

- フレッシュマップ2012
- 電子国土基本図の整備及び提供
- 地理空間情報ライブラリー、電子国土Web.NEXT

電子国土基本図



注) 電子国土基本図の内容のうち、基本的な項目は「基盤地図情報」として位置づけられる。

提供形態

デジタル(ベクトル)地図データ
(GIS等における処理・分析等)



電子国土Web地図
(幅広い縮尺でWeb上で閲覧)



電子地形図
(印刷されてわかりやすい表現)

画像データ



印刷図



【公的機関】

- ・ 内部業務で利用
- ・ 公的サービスで利用
- ・ 防災で利用



国民

【地図会社等】

- ・ ビジネスで利用



国民

地図情報も、標高も、地名情報も入った、（現在一時販売中止中） 総合的かつ最新の地理空間情報を、オンラインで刊行

数値地図（国土基本情報）は、地図情報、数値標高データ、地名情報をまとめたデータです。GISにおいて地図データとして利用できるほか、地図としての出力にも十分利用することが可能。

位置精度は、都市域では地図情報レベル2500以上（その他は地図情報レベル25000以上）

国土地理院の最新の更新情報を反映した、日々新しい情報がダウンロード可能な刊行形態です。

GISの構築の基となるベクトル形式のデータであるほか、地図として表現することにも適したデータです。

無償提供している簡易表示ソフト（ビューア）により、地図イメージで出力できます。

無償提供のビューアで出力した画像



データの詳細

データ項目	「地図情報」「地名情報」「メッシュ標高情報」「付属資料(主題情報)」
フォーマット	GML形式(JPGIS2.1準拠のXML形式) 及び シェープファイル形式
座標系	世界測地系
提供単位	2次メッシュ (2万5千分1地形図の図郭単位) 及び、都道府県
データ容量	30MB ~ 80MB(ZIP圧縮) : 2次メッシュ単位
提供範囲	全国

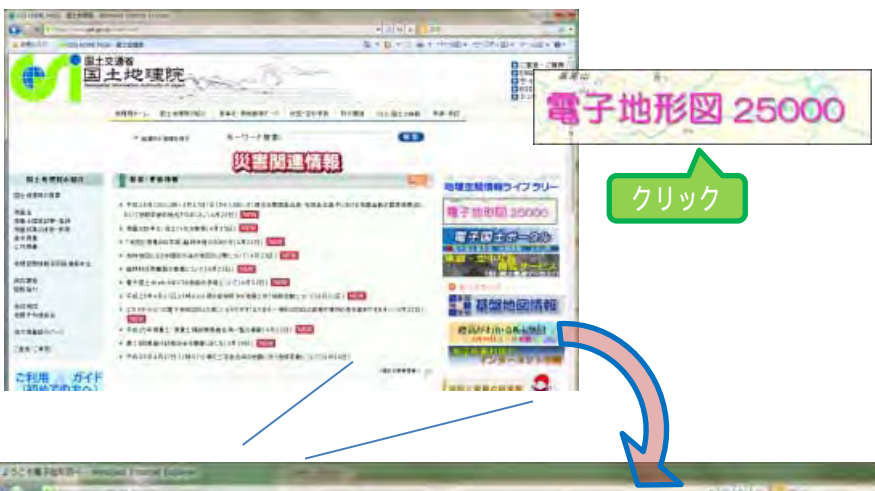
入手方法

入手方法

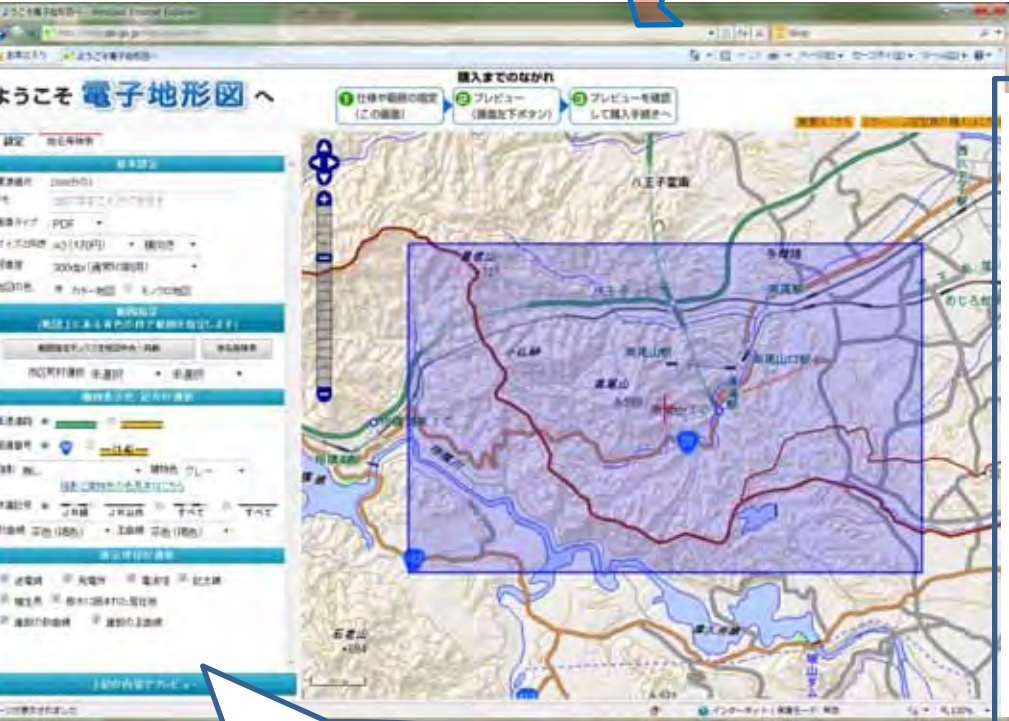
地図センターのHP <http://net.jmc.or.jp/> からご注文できます。

数値地図(国土基本情報) オンライン

2次メッシュ単位でインターネットによる提供	1ファイル	170円(税込)
都道府県(北海道は振興局)単位のDVD版での提供	1枚	7,500円(税込)



オンデマンドで作成する機能を持つ、日々新しい画像データの地図です。
H25.4月に全国刊行
(現在一時販売中止中)



購入!!



従来の地形図（昭和39年以来の様式）

- ・ 決まった図郭 目的周辺を貼り合わせ
- ・ 三色刷 建物と道路と地名が黒でみづらい
- ・ 更新は数年に一度 新しい道路等が入っていない
- ・ 書店で販売 売っている店が少ない

最新技術

電子地形図

- ・ 自由に中心と大きさ（A4～A0）、縦長横長を選べる
- ・ 建物の色、陰影の有無等を選べる
- ・ 日々更新された最新の地図が入手できる
- ・ インターネットで自宅でいつでも購入できる
- （・ 電子国土Webでは表示をとりやめた送電線等も表示できる。）

データの詳細

データの種類	地図情報画像データ
データ形式	GeoPDF、TIFF + TFW、JPG + JGW
解像度	300dpi、508dpiから選択可能
提供単位	任意図隔(画像サイズはA0～A4、印刷方向は縦/横から選択可能) 又は2次メッシュ定形版
データ容量(1ファイル)	3～15MB程度
提供範囲	全国

入手方法

入手方法

地図センターのHP <http://net.jmc.or.jp/> からご注文できます。

提供価格

解像度に関係なく、

- ・1ファイル 170円(A2～A4、2次メッシュ単位定形版)、340円(A1)、680円(A0) (いずれも税込)
- ・都道府県(北海道は振興局)単位の定形版でのDVD版での提供 1枚 7,500円(税込)

「電子地形図25000」の販売再開とこれに先立つ試用版の提供について

電子地形図は、登山道、水域等の不具合が発見されたため、5月10日から販売を一時停止。

販売の再開に先立ち、電子地形図25000の新しい内容・表現を広く知っていただくために「電子地形図25000（試用版）」を無償でご提供。

・提供時期等の情報は国土地理院ホームページでご確認ください。

・ユーザ登録の上、アンケート調査等へのご協力をお願いしています。

販売再開は7月中旬予定。既にご購入いただいたお客様へは、販売再開後修正後のデータをお送りさせていただく予定。



国土地理院ホームページで最新の情報を確認できます
<http://www.gsi.go.jp/index.html>



3 . 国土地理院の最近の取組

- フレッシュマップ2012
- 電子国土基本図の整備及び提供
- 地理空間情報ライブラリー、電子国土Web.NEXT

地理空間情報ライブラリーは、インターネットを利用して地理空間情報を利用者に提供する「仮想的な図書館」です。このサイトを通して、国土地理院の地図・空中写真及び国・地方公共団体が整備した図面等を検索・閲覧・入手できます。

地図・空中写真等の地理空間情報の利用



インターネット

地理空間情報ライブラリーサイト

検索

目録 クリアリングハウス

閲覧

電子国土 Web.NEXT

・主要な地図・空中写真がシームレスに閲覧可能
・上載せ表示が可能

基準点成果等閲覧サービス

地図・空中写真閲覧サービス

入手

基盤地図情報ダウンロード

他機関保有情報

公共測量 成果

その他の 資料

メタデータ

成果提出 保管委託 情報提供

国土地理院保有情報

基本測量 成果

公共測量 成果

その他の 資料

その他の 資料

目録整備

メタデータ

現行のHP

基準点・測地観測データ

- 基準点成果閲覧
- 地震に伴う基準点成果の取り扱い
- 電子基準点観測データ
- GPS固定点観測データ
- 重力データ
- 地磁気データ
- 潮位を測る(験潮)
- ジオイドデータ

地図・空中写真・地理調査

- 基盤地図情報
- 電子国土基本図(地図情報)閲覧サービス
- 電子国土基本図
- 数値地図(DVD・CD-ROM版)

現行のHPに比べて、クリックの回数を減らして必要な情報にたどりつけるようにしました。

地理空間情報ライブラリーHP
<http://geolib.gsi.go.jp/list>

地理空間情報ライブラリー

Geospatial Information Library

- ホーム
- 新着情報
- ライブラリーについて
- 地図と観測データ (マップアプリケーション)
- サイトの使い方 (ヘルプ)
- 地理空間情報のカタログ
- お問い合わせ

地理空間情報ライブラリーへようこそ！
 地理空間情報ライブラリーは、インターネットを利用して地理空間情報を利用者に提供する「仮想的な図書館」です。地理空間情報ライブラリーには、国土地理院の地図・空中写真の基本測量成果及び国・地方公共団体が整備した図面等の公共測量成果が登録されており、このサイトより閲覧・検索が行えます。

分野別等に欲しい情報項目が検索できます。

- 分野別
- 機関別
- 提供形態
- 東日本大震災
- 二覧から探す
- クリアリングハウス

表示形式: 表形式 | 画像サイズ: 小 | 並び順: 検索

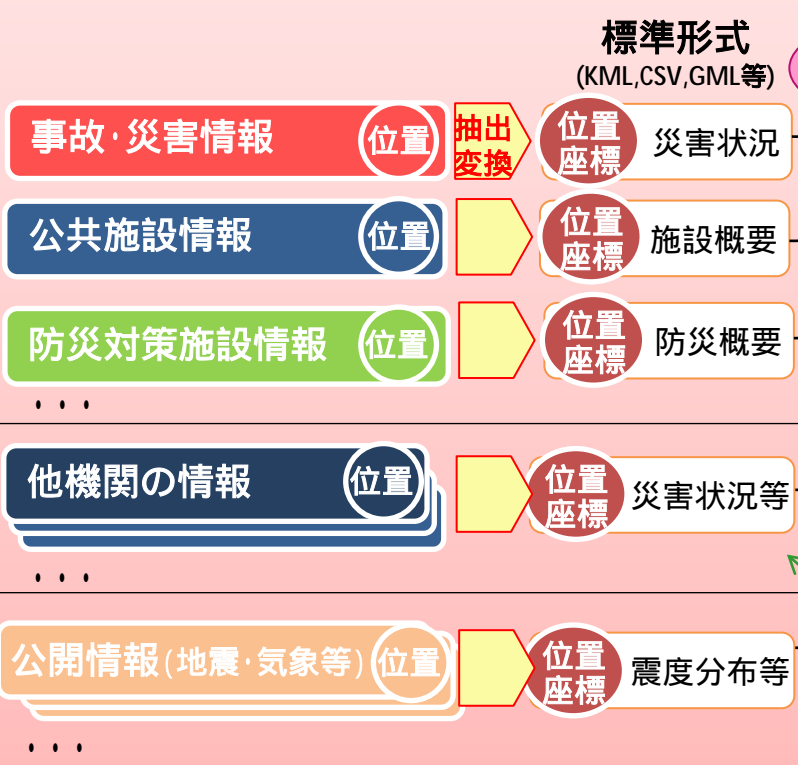
174件中 1-30 件 << < 1 2 3 > >> 表示件数: 30 件

機関別 > 国土地理院

画像	名称	概要	閲覧	紹介	入手
	電子国土Web	地図や空中写真等をWeb画面上でシームレスに閲覧することができます。	閲覧	紹介	入手
	電子国土KML配信	電子国土Webの地図を、KMLネット利用できます。		紹介	入手
	地図・空中写真閲覧サービス	地図や空中写真を検索して閲覧する	閲覧	紹介	
	基盤地図情報	電子地図上における地理空間情報の	閲覧	紹介	入手
	基準点成果等閲覧サービス	基準点成果等を検索して閲覧するサ	閲覧	紹介	
	明治前期の低湿地データ	明治13年～23年に作成された地図カ	閲覧	紹介	入手
	電子基準点データ提供サービス	電子基準点で取得したGNSS観測デ	閲覧	紹介	入手
	標高がわかるWeb地図 (試験公開)	Web地図上の任意の位置で右クリックすると、その地点の標高がわかるサイ	閲覧	紹介	
	都市圏活断層図	活断層の位置を表示した主題図です。	閲覧	紹介	入手

閲覧・入手等を選択すると各個別サイトへ直接つながります。

各種情報の位置座標付標準形式化



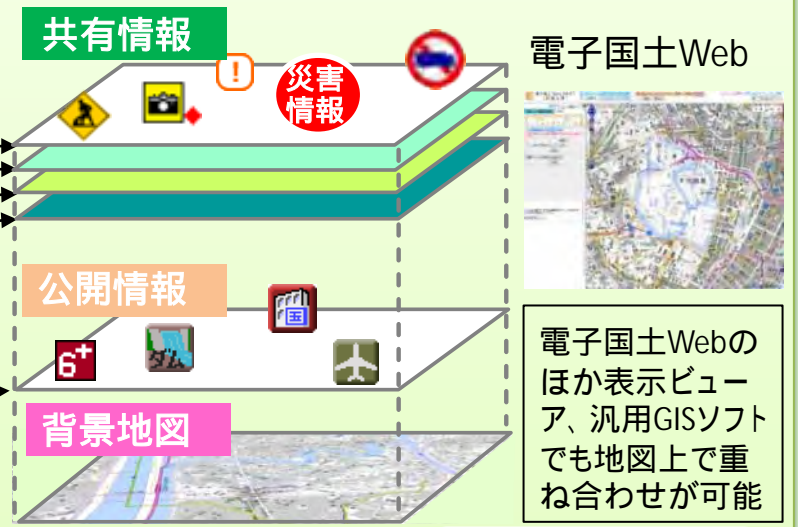
各DB等で出力
(ツール等の活用)



施設等情報にある「住所」を位置座標に変換

重ね合わせ表示

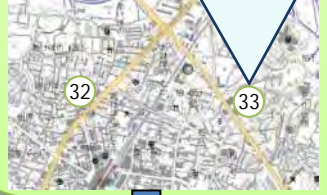
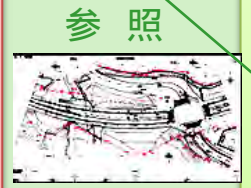
地図での情報共有・見える化



地図を背景に
情報表示

- ・路線: 123
- ・住所: 県市 -
- ・事務所:
- ・管理平面図: 123-45
- ・URL: <http://.../123.pdf>
- ・管理情報:

利用目的に応じて
地図を選択



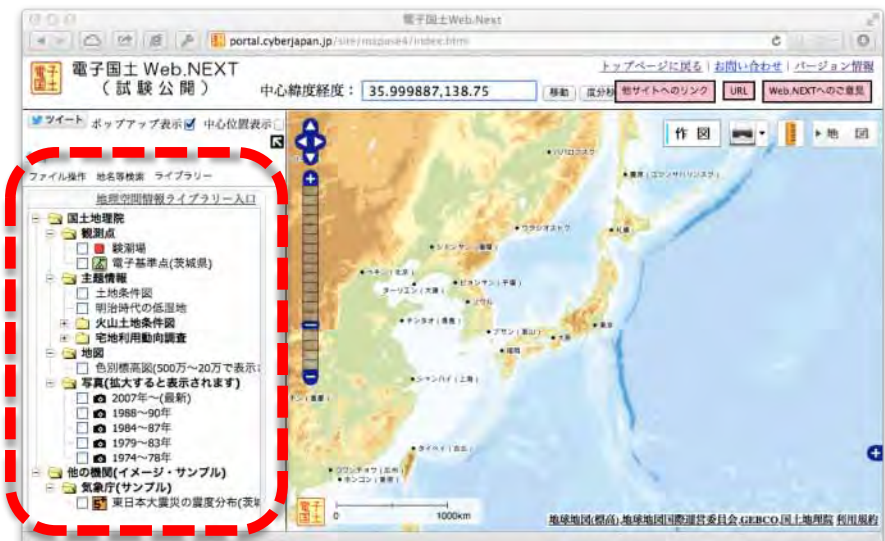
必要に応じ、集約・分析し提供

地理空間情報ライブラリーも 情報提供主体の1つ



（平成24年6月 自民党合同部会提出資料（東京大学柴崎教授）より抜粋）

- 散在する G 空間情報を平時から迅速に探し出し、いつでも容易に利用できる環境を整備。
- 行政機関や企業、研究者等が日常的に G 空間情報を高度に使いこなすことで、災害対策の計画や災害への緊急対応などに役立てる。
- G 空間情報センターを中心に情報の流通・利用を促進するとともに、G 空間情報の整備・更新の頻度や品質の向上を促し、G 空間情報の整備・流通・利用のサイクルを構築する。



彩色地図が選べます

(H25.2 ~)



彩色地図(茶)



彩色地図(緑)



表示情報を簡単に保存・共有できます

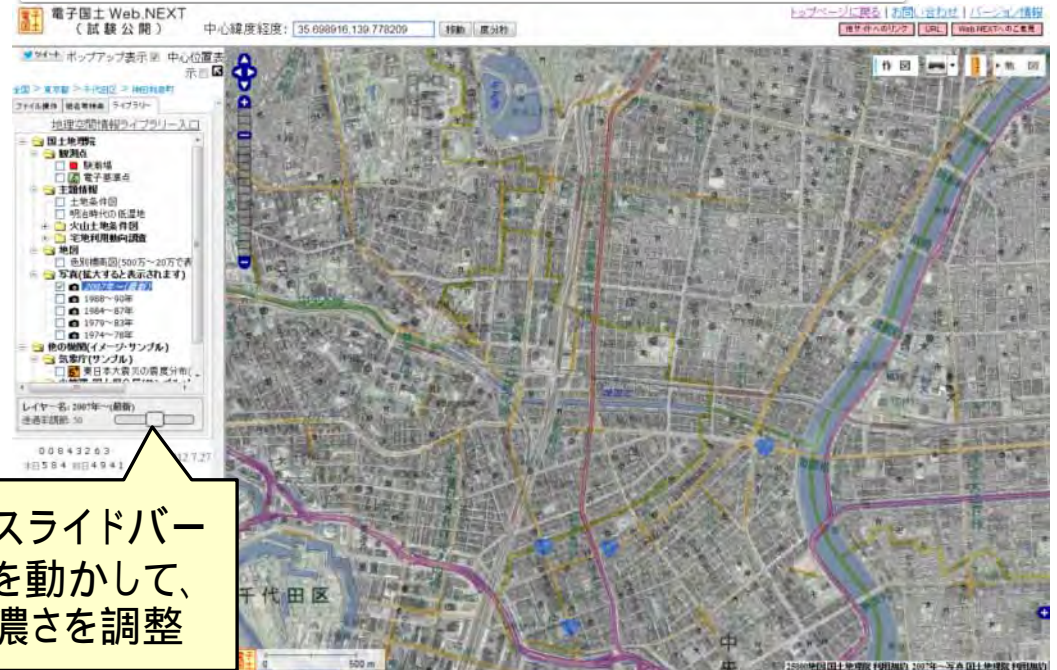
(H25.2 ~)



作図情報を含んだファイルを保存できます。

地図と空中写真の重ね合わせ表示ができます

(H25.2 ~)



スライダーを動かして、濃さを調整

土地の変遷をしてみる (最新の地図と古い空中写真の重ね合わせ)



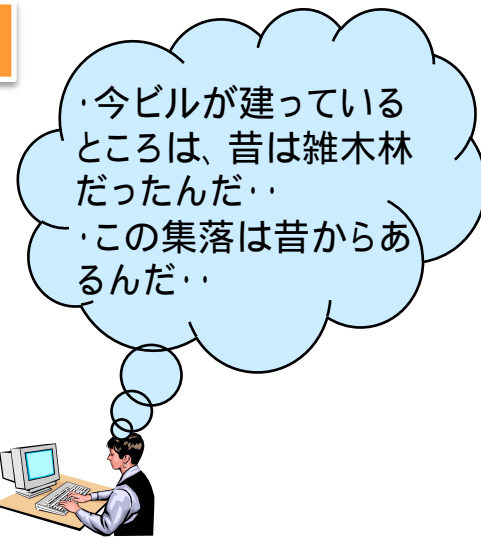
ライブラリーを選択

見たい場所の地図を表示。

1974~78年を選択



スライダーを動かして、濃さを調整



・今ビルが建っているところは、昔は雑木林だったんだ。
・この集落は昔からあるんだ。

主題図をしてみる (最新の地図と明治前期の低湿地の重ね合わせ)



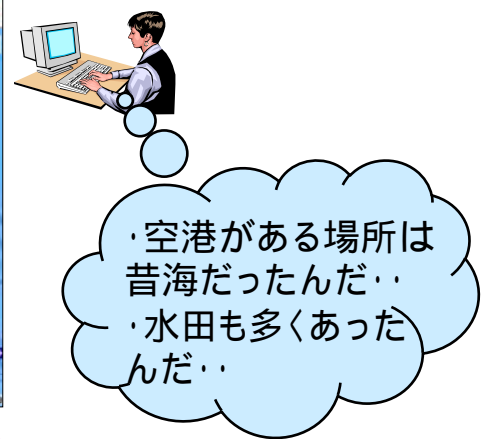
ライブラリーを選択

明治前期の低湿地を選択

見たい場所の地図を表示。



スライダーを動かして、濃さを調整



・空港がある場所は昔海だったんだ。
・水田も多くあったんだ。

凡例はここをクリック

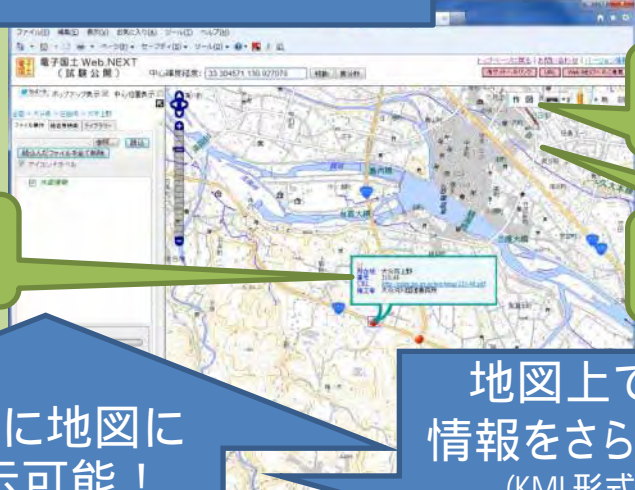
Excelツールで問題解決!

電子国土Web
(作図パネル付)

ポップアップで
属性を確認

位置を修正

地物を追加/
削除



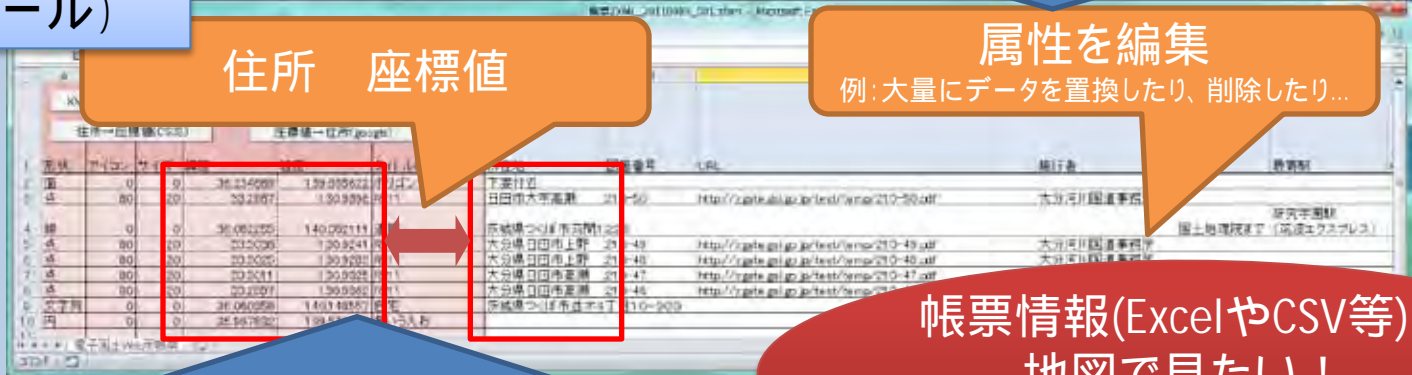
地理院マップシート
(Excelツール)

簡単に地図に
表示可能!
(KML形式などで出力)

地図上で編集した
情報をさらに修正可能
(KML形式などで入力)

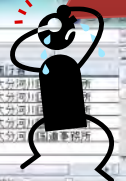
住所 座標値

属性を編集
例: 大量にデータを置換したり、削除したり...



地理院マップシート
を使えば簡単!

帳票情報(ExcelやCSV等)を
地図で見たい!
良い方法はないか?



http://renkei2.gsi.go.jp/renkei/130326mapsh_gijutu/index.htm



ツイート ポップアップ表示 中心位置表示

全国 > 茨城県 > つば市

ファイル操作 地名等検索 ライブラリー

地理空間情報ライブラリー

- 国土地理院
- 観測点
 - 験朝場
 - 電子基準点(茨城県)
- 主題情報
 - 土地条件図
 - 明治前期の低湿地
 - 火山土地条件図
 - 宅地利用動向調査
- 地図
 - 色別標高図(500万~20万で表示されます)
 - 写真(拡大すると表示されます)
 - 2007年~(最新)
 - 1988~90年
 - 1984~87年
 - 1979~83年
 - 1974~78年
- 他の機能(イメージサンプル)
 - 気象庁(サンプル)
 - 東日本大震災の震度分布(茨城県)

レイアウト名: 1974~78年
透過率:

本日 8.2 5.84 since 2012.7.27

「ファイル操作」で手持ちの地理空間情報(マップシート等で作成した情報)を読み込み、重ね合わせ表示

国土地理院
担当地域
住所
ホームページ
全国
茨城県つくば市北郷1番
<http://www.gsi.go.jp/>

チェックボックスによるon/off表示

- ・国土地理院が配信する上載せ情報をon/offできます。
- ・手持ちの情報と併せて表示できるので、資料作成の効率化や各種検討作業の高度化が期待できます。



新たな地理空間情報活用推進基本計画

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/sokuitiri/tirikuukan-keikaku.html>

G空間EXPO（公式サイト）

<http://www.g-expo.jp/>

G空間EXPO2013における国土地理院関係のイベント

<http://www.gsi.go.jp/g-expo/g-expo2013.html>

電子国土賞

<http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/G-award/index.html>

電子行政オープンデータ戦略

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/denshigyousei.html>

IT総合戦略本部

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/index.html>

地理空間情報ライブラリー

<http://geolib.gsi.go.jp/list>

電子国土ポータル

<http://portal.cyberjapan.jp/>